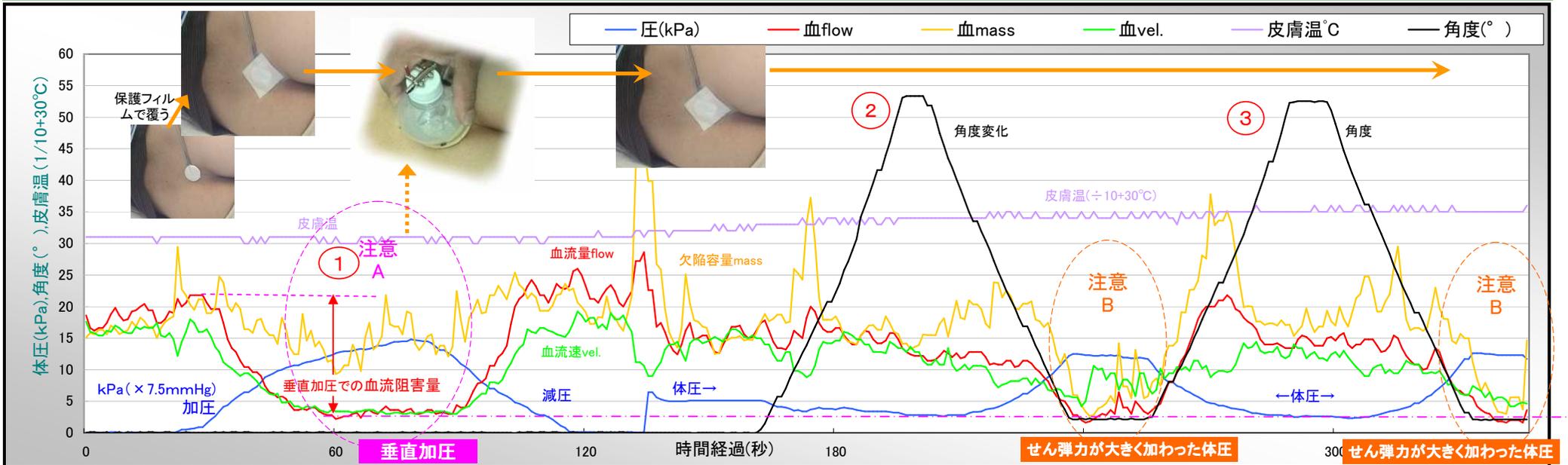


仕様機器: 接触圧測定器A0101、加圧血流チャンバA0203、接触圧・血流センサA0010、連続角度計DAS-20SET、レーザー血流計ALF21R、データロガーAMI3179-10 <<セット価格J3p>>

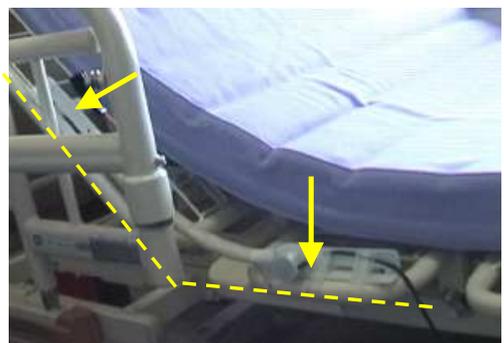
測定手順: ベッドの側面に角度計DAS-20を取り付け、健康者(女性54才)を側臥位にて接触圧・血流センサA0010をラップで覆った仙骨部に取付け測定開始する。そのセンサ上を加圧チャンバA0203にて加圧減圧を行い部位の**圧迫特性のデータ①**をとる。測定をそのまま続けながら、加圧チャンバA0203を外し、ベッドに仰臥位にしてベッドの**ギャッチアップ変化のデータ②③**と2回行い測定終了。



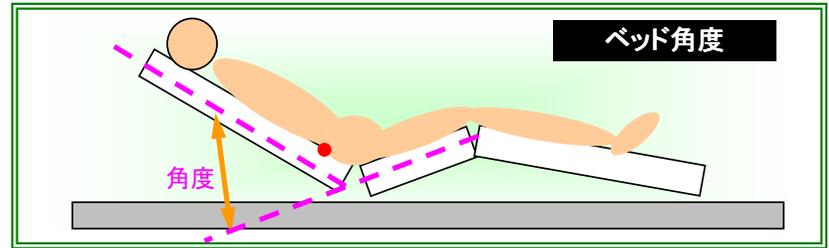
- <臨床測定の必要性と対策>
- ・ベッドのギャッチアップ機能の開発/評価
 - ・シーツ、パットなどの敷き用具の利用/敷き方指導
 - ・毛皮、ジェル(ゲル)マットの利用の効果/評価
 - ・ギャッチアップ後の介護/看護指導
 - ・ギャッチアップの影響が少ない角度を知る
 - ・ギャッチアップ利用の考慮



接触圧血流センサ取付け状態(測定は仰臥位で行う)



← 連続角度計センサの取付け位置



*注意A は皮膚に垂直に加圧。注意Bは皮膚にせん断力が加わった体圧。特に血管が潰れmass 流速がvel.上がりその違いで血管(組織)への負荷状態が表れている!!

